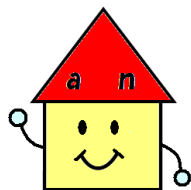




社会福祉法人 北摂杉の子会

児童デイサービスセンター

an



2024年1月改訂

大阪市発達障がい児専門療育機関

(児童発達支援事業／放課後等デイサービス事業)

★専門療育の利用期間は4月～翌年3月になります



アクセス 阪急「十三」駅下車、東出入口から出て徒歩約10分
※駐車スペースがありませんので、車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用下さい。

〒532-0023

大阪府大阪市淀川区十三東1-1-6

電話 06-4862-5454 FAX 06-4862-5466

HP <http://www.suginokokai.com>

療育は保護者の方と協働のもとすすめていきます

療育方針

1. わが子を知ることを知る（研究する）

保護者の方が療育の中でお子さまの好きなものや得意なこと、興味のあること、困っていることについて、改めて考え発見する機会を設け、わが子への理解がより深まるよう支援します。

お子さまには、周囲の大人から自分の個性を大切にされることで自尊心を育み、より主体的に自発的に生活できるよう支援します。

2. 自閉スペクトラム症について知る

保護者の方が自閉スペクトラム症の特性や基本的な関わり方の工夫について知り、わが子に置き換えて考えられるよう支援します。

お子さまについては、自閉スペクトラム症の特性にあった関わりが日常生活の中で増えていく事で、より自分らしく成長できるよう支援します

3. わが子に合った子育ての工夫を見つける

具体的な関わり方の工夫を保護者の方とともに実践し、わが子に合った子育ての工夫や、今わが子に芽生えている力を見つけられるように支援します。

お子さまについては、自分に合った工夫の中で活動してみることで成功体験を積み自尊心を育めるよう支援します。

〇対象者

- ・年齢は年少から小学校3年生のお子さま ・定員60名（幼児40名/学齢児20名）
- ・医療機関で「自閉スペクトラム症」「自閉症」「発達障害」等の診断を受けた児童及び保護者の方
- ・保護者同伴で1年間（療育20回）継続して通所が可能で、保護者研修（10項目の視聴）に参加できる方 ※きょうだい児を連れての利用は、お断りしています

〇利用料金

療育の利用については、国が定める利用者負担額を徴収させていただきます

※小学生については、平日の利用と夏休みなどの利用では負担額が異なります

※未就学の方は、「幼児教育・保育の無償化」の対象になります

※ご利用いただくにあたり、通所受給者証の取得が必要になります

〇療育利用の流れ

医療機関での診断／大阪市に利用登録 申し込み



大阪市より利用可能の連絡



anから資料送付/利用契約/事前の情報収集



初回 単独療育／ご家族のニーズの確認



個別の支援計画の作成／療育・保護者研修スタート

○時間帯（※療育時間は1回1時間程度です）

※別紙『利用に関するお願い』をご覧ください

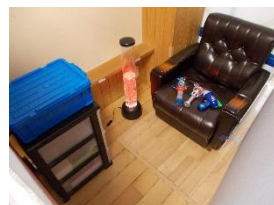
療育の曜日と時間帯は1年間固定です。年間予定決定後の変更はできません。

○療育の内容

- ・個別の支援計画をもとに、一人ひとりに応じたプログラムを提供します
- ・個別に行動や感覚の特徴・学習スタイル（強み・弱み）、興味関心などの行動観察を実施し、丁寧に評価をした上で、一人ひとりに合わせた個別療育を実施します
- ・療育中は、保護者の方にも療育に参加して頂きます

○1時間の流れ（※個別の目標によって内容は異なります）

活動	内容
身支度	支度を自立して行います
スタッフと課題	目標になったことをスタッフと練習します
あそび	活動の切り替えや余暇の拡大を目指します
ひとりで課題	ひとりでできた！成功体験を積み重ねます
リラックス	好きな感覚を使って休憩します
手洗い	身辺面の自立を目指します
おやつ	コミュニケーションの練習をします



○保護者研修（受講必須）全10項目

保護者の方が、我が子についての理解を深め、適切な支援の観点とその方法について学習することを目的としています。

また、anでは、保護者研修を動画で提供させていただいております。保護者研修を療育中に視聴するか、家庭で視聴するかを選んでいただくことが出来ます。



回	内容
第1回	療育って何？ ～療育のねらいや目的～
第2回	自閉スペクトラム症の特性の理解 ～社会性・コミュニケーション・想像すること～
第3回	自閉スペクトラム症の特性の理解 ～感覚の特徴・注意の向け方のちがい～
第4回	生活スキルを育てるには ～人とのコミュニケーション～
第5回	生活スキルを育てるには ～身の回りのことに取り組む力～
第6回	子どもの持っている力の引き出し方 ～子どもの“芽生え”を見つけよう！～
第7回	子どもは何に困っているのか
第8回	子どもに分かりやすく伝えるには？ ～特性に合わせた支援～
第9回	子どもを取り巻く関係機関との連携 サポートブックの作り方
第10回	社会資源の活用や思春期・将来に向けて 親子の1年を振り返ろう

○療育相談（希望者のみ）

療育・保護者研修では解決しにくい問題について個別に相談に応じるために相談業務を実施しています。

○利用者の声

子どもは、「難しそうだな」「きっとできない」という気持ちから新しいことに取り組むのが嫌いだったが、この1年で何事にも「やってみよう」という姿勢が見られるようになった。適切な支援で成功体験を積んだことで、意欲的に取り組めるようになり、結果「できること」がたくさん増えた。



発達の遅れに対して、焦りや不安をまだ感じる時はあるが、以前よりも余裕を持って子どもに接することができるようになり、子どもなりの成長のスピードや変化を感じ、嬉しく思えるようになった。